

よって、
原発の運転は
許されない。



原発をとめたためた 裁判長

そして原発をとめる農家たち

樋口英明(元裁判長) 河合弘之(弁護士)
近藤恵(元松原町長) 飯田哲也(環境学者)

監督・脚本・小原浩雄(日本の忘れもの、アライメント、世界の真実) 企画・製作・河合弘之(日本・歴史(日本と再生)) 音楽・吉野裕司
主題歌「涙はきかぬ」歌:白崎静弥
2012年、NHK「NHKスペシャル」放映
©2012 AFF. All Rights Reserved.

1952年三重県生まれ。元福井地裁裁判長。地裁・家裁等の判事を経て2006年4月より大阪高裁判事、09年4月より名古屋地家裁半田支部長、12年4月より福井地裁判事総括判事を歴任。14年5月、関西電力大飯原発3・4号機の運転差止を命じる判決を下した。さらに15年4月、原発周辺住民9人の申立てを認め、同機の再稼働差止の仮処分決定を出した。17年8月、名古屋家裁部総括判事で定年退官。著書「私が原発を止めた理由」(旬報社)で通称「樋口理論」を発表。

『日本と原発』『日本と再生』のスタッフ再集結! 不屈の魂と新たな希望の誕生。

主催／つなごう命の会、未来への一歩くちやーすがの会、宗教者核燃裁判沖繩キャラバン実行委員会
お問い合わせ／090・8282・6077 (立田)

<https://saibancho-movie.com/>

樋口英明さん講演会

事前映画上映会 | 5/10 (13:30 開場) 14:00 より

参加費
無料

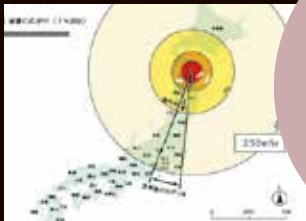
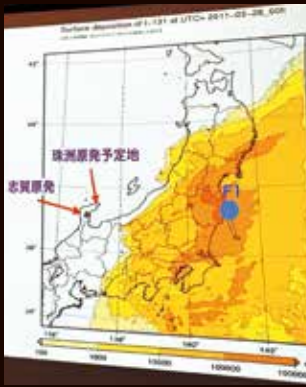
会場 なは市民協働プラザ2F 会議室1 那覇市銘苅2-3-1 (ゆいレール「古島」駅から徒歩10分、有料駐車場有・割引あり)

入場 無料

原発は事故が起きたら取り返しがつかないことになるから問題、というだけではなく、事故が無くてもしのちを蝕み続けています。平和を破壊しています。今回キャラバンを沖縄で行うことについて、さまざまなことを考えました。原発のない沖縄。軍事基地に苦しめられている沖縄。いろいろな問いを抱きながら、それでも、政府から押し付けられる不条理とたたかひ、「無核無兵」を実現するために一緒に考えたいのです。〜実行委員会より

原発をとめた元福井地裁裁判長 樋口英明さん講演会

5/21(水)
18:30より
(18:20 開場)



会場

カトリック安里教会

那覇市安里3-7-2 (ゆいレール「おもしろまち」駅から徒歩4分)

主催

「宗教者核燃裁判」沖縄キャラバン実行委員会

〔協力〕 未来への一歩 ~ちゃーすがの会

お問い合わせ

090-8282-6077 ・ otacogumi@gmail.com (立田)

090-3213-4575 ・ hit@nam-mind.jp (大河内 原告団東京事務所)

〈右段上から〉

1989年、石川県珠洲市での阻止行動。可能性調査のためやってきた関電作業員にピケを張る地元の漁師

六ヶ所村再処理工場施設遠景

雨の中で蒸気を出す高レベルガラス固化体輸送容器 (1995.4.26 むつ小川原発 撮影：島田恵)

〈左段上から〉

東日本におけるヨウ素131の広域拡散と大気降下量シミュレーション (日本原子力開発機構)

下北半島に集中する原子力関連施設 (東通原発PR施設)

再処理工場貯蔵量の1%分の放射性物質が放出される事故を想定した場合の被曝致死率を示した図。赤色73.5km圏内は全数死亡

「宗教者核燃裁判」 沖縄キャラバン2025

2020.3.9 提訴
原告 宗教者・信仰者
被告 日本原燃株式会社
青森県六ヶ所村再処理工場
運転差止請求

集会呼びかけ人●伊藤路子(つなごう命の会)、上原榮正(日本聖公会)、内間清晴(沖縄エキュメニカル平和センター)、海勢頭豊(平安座神人)、岡田弘隆(真言宗豊山派沖繩長谷寺)、金井創(日本基督教団佐敷教会)、岸本雄志(真宗大谷派沖繩開教本部)、島しづ子(日本基督教団うふごと教会)、高橋年男(ちゃーすがの会)、長谷暢(真宗大谷派沖繩開教本部)、矢ヶ崎克馬(つなごう命の会)、山田圭吾(カトリック泡瀬教会)

